

甲殻類

-こうかくるい-

ぜんしん こうかく
全身がかたい甲殻でおおわれた
せつてく どうぶつ おお しゅ うみ せいそく
節足動物。多くの種が海に生息して
おり、ワラジムシなどごく一部が陸上
しんしゅつ
に進出している。



□テナガエビ(エビ目テナガエビ科)
せいだい せいそく ながめ
成体のオスは2番目のあしがとても長くな
めだ ながめ
り目立つ。長いあしはえものをつかんだ
つか
り、ほかの個体と争うときなどに使う。



□スジエビ(エビ目テナガエビ科)
ふくぶ ほん くら すじ はい たんすいせい
腹部に7本の黒い筋が入った淡水性のエ
いっしゅ ひるま いし した みずくさ かく
ビの一種。昼間は石の下や水草に隠れ、
よる かっぱつ うご だ
夜になると活発に動き出す。



□アメリカザリガニ(エビ目アメリカザリガニ科)
なんぶ げんさん がいらいしゅ みずくさ すいせい
アメリカ南部原産の外来種。水草や水生
こんちゅう なん た ざっしよくせい みず よご
昆虫など何でも食べる雑食性で、水の汚
たいせい
れにも耐性があり、繁殖力が強い。



□ベンケイガニ(エビ目ベンケイガニ科)
うみ ちか かせん せいそく いっしゅ
海に近い河川に生息するガニの一種。
こうら しつかん りょうはし
甲羅はゴツゴツとした質感で、両端に
つい き
1対の切れこみがある。



□クロベンケイガニ(エビ目ベンケイガニ科)
かせんじき しっち ほん
河川敷や湿地のヨシ原などに生息し、
どろ なか すあな ほ せいかつ
泥の中に巣穴を掘って生活している。
ざっしよくせい みずべ しよくぶつ こんちゅう た
雑食性で水辺の植物や昆虫を食べる。



□モクズガニ(エビ目イワガニ科)
け みつしゅう は
はさみに毛が密集するように生えている。
ようせい うみ せいちよう せいちよう かこう
幼生は海で成長し、成長とともに河口か
かせん のぼ せいかつ
ら河川を上り、生活する。



□オカダンゴムシ(ワラジムシ目オカダンゴムシ科)
じんか にわさき こうえん み
人家の庭先や公園などでよく見られ、
お ば た せだ きげん
落ち葉などを食べて育つ。危険を感じると
まる み まも
丸くなって身を守る。



□ワラジムシ(ワラジムシ目ワラジムシ科)
かせんじき しっち ほん
ダンゴムシと同じような環境に生息する。
まる なることはできないが、移動スピード
はダンゴムシよりもやや速い。

貝類

-かいるい-

なんたい どうぶつ ひと にまいがい まきがい
軟体動物の一つで、二枚貝や巻貝の
なかま ふく からだ まも
仲間が含まれる。やわらかい体を守
から
るためにかたい殻をもつ。



□ヤマトシジミ(マルスダレガイ目シジミ科)
うみ みず かわ みず ま あ きすい いき
海の水と川の水が混じり合う汽水域に
せいそく にまいがい せいちよう くら
生息する二枚貝。成長するにつれて黒く
なっていく。



□ヒメタニシ(タニシ目タニシ科)
ちしよう すいでん せいそく たんすいせい
池沼や水田などに生息する淡水性の
まきがい なかま よご みず かんきよう へんか
巻貝の仲間。汚れた水や環境の変化に
つよ みちが み ひと
強く、身近に見られるタニシの一つ。